タカ、噂ダケニ過ギナカッタ。斯ノ如キ状況ニアル銚子ノ労働者ニハ僅少ナガラモ組合意識ガ前カラ芽生エツヽイタトシテカ至当デアラウ。

本年ニナッテ野田ノ関東醸造ノ解雇者ガ何処カラ手入レシタカハ不明デアルガ恐ラク七、八月頃カラ縁故関係ヨリボツボツト極メテ秘密ニ宣伝ニ努力シ 十月廿三日ニヤマサノ職工ガ集リテ会合シテ、組合理論ヲ学ビ相談シタコトガ職工長ノ調査ニテ探知サレタ。 故ニ会社（ヒゲタ）ノ方デハ夫レガ所以ヲト、会社ノ都合ト云フ名目デ 十月廿五日木内武雄、佐藤金助両名ヲ解雇シタ 此ノ解雇ニツキテハ、労資了解ノ下ニヤッタノデアルカラ、別ニ会社デハ問題ニナラヌト考ヘテイタ。

二、争議の近因

諸氏ハ前ニ述ベタ経営者ノ不況ハ幾分カ銚子醸造ニ影響シタルガ、去ル八月中旬ヤマサ（醤油）ニ於テ、機関部ノ主トシテ各機械掛合ハ五名解雇セリ。然シテ仕事ノ分料モ九月一日ヨリ給与制ヲ壊シ一任シテ給銀ニ二割ノ増加ヲナセシモ、中ニハ会社ノ内情ヲ云フモアリシガ、概シテハアルモノニ至ツテハ労働組合ニ這入レバ何事モ会社ノ要求ヲ九分迄ナルト不平ヲ述ベルモノモアッタ。 一月下旬ニナリヤマサノ機関部ニハ五名位ハ、組合意識ヲモテルモノヽ常見サルヽニ至ッタノデ警戒中デアッタ。九月初旬ニ至リ（ヒゲタ会社）別ノ工場ノ機関部モ一体リ五名位ヲ解見サレ、前ニ工場ニテ近藤ニテ作ッタ組合ガ機関部ニ加入ヲ促シタルニ、機関部ハ停止

財團法人協調會